

# フジワンフェルテラ粒剤

[クロラントラニリプロール・イソプロチオラン  
粒剤]

農林水産省登録 第22567号

有効成分 クロラントラニリプロール…  
0.75%  
イソプロチオラン…12.0%

性状 淡褐色細粒

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称） 危険物：- 有効年限：4年 包装：1kg×12（紙パック） RACコード：殺虫[28]殺菌[6]

## 特長

- 育苗箱処理により、いもち病、水稻主要害虫、チョウ目害虫を同時防除できる。
- フェルテラはフタオビコヤガ、イネツトムシなどのチョウ目害虫に対して、高い防除効果、優れた効果持続性を発揮する。また、既存剤に抵抗性を示すイネドロオイムシにも優れた防除効果を示す。
- フジワンの植物成長調整作用により、根の伸長および発根を促進する。

## 効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植する。
- 稲の葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落としてから薬剤を散布する。
- 本剤は種時覆土後処理により、水分の極端に多い特殊な育苗条件（プール育苗等）や培土種によっては軽微な薬害が認められることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持する。
- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当りに乾籾として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a 当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が 1kg/10a までとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整する。
- いもち病に対して使用する場合は、移植後およそ6週間を経過すると葉いもちに対する防除効果が弱まるので移植後葉いもち発生までの期間を考慮して使用する。なお、天候不順等で葉いもちの発生期間が長びく場合、又は葉いもちの発生がおくれた場合には必要に応じて本田でいもち防除剤を追加散布する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 安全使用上の注意事項

- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。

適用内容

| 作物名        | 適用病害虫名                                  | 使用量   | 使用時期            | 本剤の使用回数 | 使用方法                  | クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数 | イソプロチオランを含む農薬の総使用回数         |
|------------|---|---|-----------------|---------|-----------------------|-------------------------|-----------------------------|
| 稲<br>(箱育苗) | いもち病<br>ニカメイチュウ<br>イネミズゾウムシ<br>イネドロオウムシ | 育苗箱<br>(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)<br>1箱当り50g                           | は種時覆土後～<br>移植当日 | 1回      | 本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する | 1回                      | 3回以内<br>(移植前は1回以内、本田では2回以内) |
|            | ツマグロヨコバイ<br>フタオビコヤガ                     |   | 緑化期～<br>移植当日    |         |                       |                         |                             |
|            | イネツトムシ                                  |   | 移植当日            |         |                       |                         |                             |
|            | いもち病<br>ニカメイチュウ<br>イネミズゾウムシ<br>イネドロオウムシ | 高密度には種する場合は<br>1kg/10a (育苗箱<br>(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g) | は種時覆土後～<br>移植当日 |         |                       |                         |                             |
|            | ツマグロヨコバイ<br>フタオビコヤガ                     |   | 緑化期～<br>移植当日    |         |                       |                         |                             |
|            | イネツトムシ                                  |   | 移植当日            |         |                       |                         |                             |

| 作物名        | 使用目的               | 使用量                                   | 使用時期            | 本剤の使用回数 | 使用方法                  | クロラントラニリプロールを含む農薬の総使用回数 | イソプロチオランを含む農薬の総使用回数         |
|------------|--------------------|---------------------------------------|-----------------|---------|-----------------------|-------------------------|-----------------------------|
| 稲<br>(箱育苗) | 根の伸長<br>及び<br>発根促進 | 育苗箱<br>(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)<br>1箱当り50g | は種時覆土後～<br>緑化始期 | 1回      | 本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布する | 1回                      | 3回以内<br>(移植前は1回以内、本田では2回以内) |

製品写真



最新の登録内容はこちら

